

豊中市東丘公民分館

公民館だより

地域ぐるみの活動を

分館長 植木克己

公民分館は、地域住民の信頼に応えるために、民主的な運営により、住民多数の意見を反映していかねばなりません。その意味で、五十七年度に分館規約と機構の充実に向けて検討を図り、これを改正実施して参りました。地域を代表する各自治会長及び各種団体の有識者諸氏には、ご多忙の中を分館の運営委員としてご支援ご協力を頂くことができ、誠に有り難く感謝いたすと共に、地域発展のため力強く思っています。さて、本年度(五十七年)事業も、この分館だよりが最後で無事終了致します。これも学校当局の御理解、分館役員や委員の皆様の活発な活躍により、その成果があげられました事、本当にありがとうございます。昨今、近隣での人と人との心のふれ合いが薄らいでいます。今こそ住民が互いに助け合い、いろいろな問題解決に努力し、地域社会を育てていくときではないでしょうか。誰もが公害のない社会環境や豊かな文化生活が満されることを願っています。この願いを明らかにしながら、地域ぐるみの力で解決していく場の一つが公民館の活動でもあります。今後も住民の皆様

編集発行	東丘公民分館
分館長	
広報担当委員	幸治 幸子 藤原 弘子 鷹 薫
発行部数	3,700部

ご支援、ご協力、ご参加をお願い申し上げます、私の御挨拶とします。

「現代っ子」という言葉

東丘小学校教頭

千田 宏

近頃少し年をとった人が集まると、「今の子は」とか「現代っ子」という言葉を、よく口にする。これらの言葉は、いい意味にとられる場合もあるが、たいていの場合、あまりよくない意味に用いられているようである。……軽薄・利他的行動・衝動的行動・自己中心的……等の代わりに使われている感じさえすることがある。

しかし、これらの言葉を口にする人々(私も含めて)も、若者時代は、その時代のいわゆる大人たちから眺めたら、やはり「現代っ子」でなかったらどうか。明治の人にとって大正の人間は「現代っ子」であり、大正や昭和初期生れにとっては、今の若者たちは「現代っ子」である。

私たちは、とかく自分を基準にして物事を押し量りがちである。今の時の流れの中で、今の若者たちが、

今の生き方をしていくことは視点や考え方を変えて見てみると、すばらしいことであり、そのエネルギーに驚き、羨望さえ感じる。

私たちが若い頃、なし得なかったことを「現代っ子」は楽々と行い、しっかりした考えのもとで、自分たちの意見を堂々と主張し、思ったことを物おじすることなく迅速に行動にうつせることができるのも「現代っ子」である。見かたによってはそのことが軽薄とか、衝動的とかにうつるのではないだろうか。時は一瞬も止まらず刻々と流れて、今の「現代っ子」は明日は過去の者となり、今の「現代っ子」もやがて「今の子は」という時が来るでしょう。「現代っ子」という言葉が生れることは、ある意味では平和で幸福な時代であるのではないのでしょうか。

私たちはもう一度自分たちが若者の頃、いわゆる大人たちに「今の子は」と言われていなかったかを振り返り、「現代っ子」の行動を時の流れの中であたたく見守り、その行動が、人間としてのルールを逸脱するものでなければ、さらに「現代っ子」の長所を助長するようにしてあげるべきではないでしょうか。

社会教育目標

○人権を尊重しよう

○教養を高め、豊かな心をつくりましよう

○力を合わせて、清潔で美しい町をつくりましよう

ひまわり子ども会

B6-101

育成委員長 中川 章 子

長女が自治会の子ども会に入った54年頃は会員も多く育成委員の中にも男の方がおられ夏のキャンプを始め、活発な活動をしておられました。子供が成長し育成委員も交替するにつれ次第に引き受け手が少なくなりやめて行かれた方もいるように聞いています。私自身、育成委員三年目になってしまいました。小学生中学生を対象に構成されていますが高学年になると忙がしくなり行事があっても参加しない人が多いようです。現在42名程ですが、低学年で、しかも下に弟や妹のいる人が大半をしめています。低学年から入会しそれぞれ成長したお兄さんお姉さんが後輩の指導に携わって下さる事が理想なのですが現状は非常に厳しい様です。子ども相互の親睦、協調性のある堅実な活動の発展を促す為には、日常継続的な活動が大切ですが、青年リーダー、指導者、育成者、共に不足している現状では、何回かの行事を行う事だけで精一杯で、本来の子ども会の目的や、子ども会を通して得られる横のつながり縦のつながりがうすくなるのもいたしかたのない事だと思えます。そこで子ども達の豊かな人間性を育てると共に安全な活動を行う為には我が子がかわいいたく様に地域にいる児童全てが自分の子という考えに立つ

て会員の保護者の一人一人が「あの子どもこの子どもみんなの子」という事を認識して頂き豊かな子どもを育てることも会活動をよく理解して頂く事が大切だと思います。

地域に密着した、より活発な子ども会活動を促進してゆく為には皆様の積極的な参加を切に希望する次第でございます。

私の町

B3-502

湯川 円

私は、東町からひっこしするとしたら、絶対に、反対します。

きっとみんなも反対すると思います。

それは、とても、たのしい町だからです。子供会では、春・夏・秋・冬と、いろいろな行事が、あります。春には、ハイキング、夏には、花火大会、秋には、いもほり大会、冬には、クリスマス会、とこんな行事があります。

では、家の事を、少し、お話します。

私は今年で、妹は一年です。

だから、三つも、はなれています。

妹は、おこりっぽくて、でも、私に、本当に、よく似ています。

いつも、姉妹げんかをしますが、私の方がよくおこられます。

それは、私の方が年上だからです。年上って本当に、そんですね。

でもがまんをしないで、四年生とは、いえません。だから、いつも、がまんしています。

東町には公園も、たくさんあり、花が、いつも咲いています。

そして、広場が、いくつも、有るので、キャッチボールや、野球など、楽しく、遊べます。

私の町は、とても楽しい町です。

だから、私は、ひっこししたくないのです。

地区のリレーのじゅ

A26-206

葛原 功 也

ぼくは、こんど地区のリレーにできました。よせんのときは、トップで、ぼくのじゅんばんがきました。バトンをもらって、おもいきり走り、四年生の人にバトンタッチしました。後ろを見ると、だいぶがいていたので、よせんはこれでぜったい通過すると思えました。そして、そのとおりに、らくらくと一位でゴールインして、午後からのけっしょうせんに、出ることにになりました。

けっしょうせんでは、三位でバトンをもらいました。そして、おもいきり走り、前の二人をまん中からぬぐかれそうになったりしましたが、みんないっしょけんめい走って、優勝することができました。

そのあと、表彰式で、賞状とトロフィーをもらい、一人づつには、サララップと、ボールペン、ノート

などをもらいました。そして、みんなであつまって、きねんしゃしんをとってもらいました。
 一ヶ月ぐらいたって、ぼくがトロフィーを、あずかるばんがまわってきました。家のまん中にだいにじかざっておいて、しゃしんをとりました。そのあと、本当はずっともっていたかっただけど、がまんして、次の番の人にわたしました。また来年も、地区のリレーに出て、優勝したいです。

盆踊り雑感

C26309 黒田 精一

東町の夏の祭典である盆踊り大会が、年々盛んになることは、喜ばしいことである。

私は、子供の頃から祭りが好きである。私の生れ育った所は、茨城県南部の農村であったが、盆踊りの風習はなかった。その代り、田植の終わった初夏と、取り入れの終わった晩秋に一日づつ祭りがあった。どの家でも、赤飯を炊いて、精一杯の御馳走を作った。もっとも田舎のことなので、初夏にはカツオ、晩秋には甘酒と、ノッペイ汁（野菜のゴツタ煮）位しかないが、私達にはうれい日であった。村によって、祭りの日が違うので、子供達は、いとこ達のいる親戚へよばれるのが楽しみであった。その風習も、農業の近代化が進んだ現在では、ほとんどなくなりました。
 農村に、ふるさとがなくなりつつある時に、コンクリートの町で盆踊りや、団地祭りが行われ、子供達の夢を育てていることは、有意義なことだと思ふ。
 実行委員会の努力で、年々夜店が賑やかになるのは

結構なことであるが、もっとももっと踊りの輪を広げるべきだと思ふ。昨年公団のC26棟では、棟委員の肝入りで、集会所を借りて、踊りの練習をしたが、他の棟からの参加もあって好評であった。このようなことが各住区で行われることによって、踊りに参加する人ももっとふやして行くことが必要と思ふが、どうであろうか。

公民分館活動に参加して

A37201 土居 美代

子供の幼稚園の関係で東丘公民分館活動に参加させていただいておりますが、これまで、あまり関心を持たずにいた者が初めて公民館活動に参加してみたい事は、公民分館と私達の暮らしむきの間には、一体どんなかわり合いがあるのだろうかという事です。年間いろいろな行事計画が組まれているが、その都度仕事の合間をぬって行事を推進される役員の方々の御苦労も大へんなものです。個々の行事そのものは年一回きりのものであっても、地域で継続して行なわれている社会教育活動の一つの「節」として大切な意味を持つものである事は云うまでもありませんが、又物的生活の豊かさだけが生活の豊かさを保障するものではないと思ふし、心のゆとり、心の豊かさがそれに関わなければならないと思ひます。集団活動への参加を通して、自分自身を向上させ、ひいては地域社会の向上につながるような生きた公民館活動が望まれるゆえんであると考えます。その為には、東町住民の集団活動の拠点である東町公民分館の活動内容が画一的な単なる、おつき合い的なものでなく、日常の地域

活動の中から自発的に決定された東町住民共同の創造活動として発展すれば、もっとすばらしいものになると思ひます。

そうする事によって、公民分館と東町住民の暮らしむきは、深く相互に響き合うはずだと思ふし、本当の住民本位の公民分館活動が出来るのではないかと思ひます。

公民館行事に参加して

桜ヶ丘 平位 晶子

夏の盆おどりに始まり、地区体育祭、ソフトボール大会等……、今年も天候にもめぐまれ、無事に終わりと一息ついているところです。昨年までは、子供達にせがまれて盆おどりに行くぐらいで、他の行事には、ほとんど参加しなかった私ですが、今年は、ジュース売りに汗を流し、対抗リレーの応援に一生懸命になり、我が桜ヶ丘のソフトボールチームの強いのに驚き、思わず大声を上げ夢中になっていました。そしてとても楽しい一日を過ごすことが出来ました。多くの方々の応援があれば、がんばって下さる選手の人達も張り合いがあると思ひます。今後とも、ぜひ皆様方のご声援をお願いします。

緑地と自転車

C 2 2 2 2 0 3 山 岡 秀 一

千里阪急ホテル北側の緑地が、自転車で荒らされています。近ごろでは、「セルシー」に抜ける陸橋にも自転車散らばり、歩行をさまたげています。オートバイやスクーターまでが乱雑に放置されて、なんともすさんだ光景です。

公民館活動では、社会人の「教養講座」を開いたりしていますが、母子でツツジの株をこづきながら、あたりまえのように自転車を乗りすててゆく姿などをみると、高尚な教養よりも、まず基本的なマナーを身につけてもらいたいな、と思ったりします。

それにしても、この付近の状況はなんとかしなければなりません。一定のスペースの自転車置き場もいるでしょう。緑地を復元するのか、きちんとした自転車置き場にするのか。豊中市役所にも適切な処置を求める必要があります。

東町の各地区代表が、近くこの問題で話しあうことにしていますが、住民のみなさんにも、関心をよせていただきたいと思っています。

(公団・山岡)

会社から帰りの出来事

平野 弥太郎

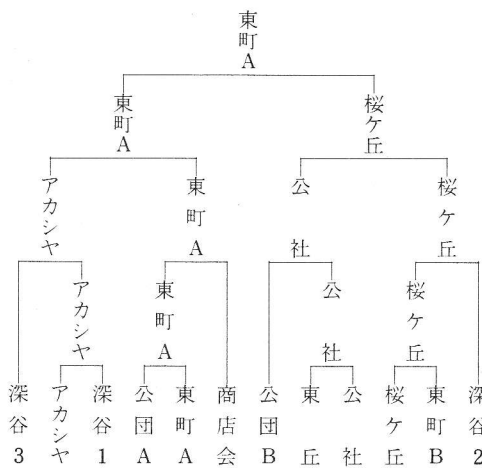
毎日自動車通勤している私ですが、たまに電車で

帰る途中のことです。歩道を、子供の二人乗り自転車が走って来ました。すぐに降りるように云いましたが一度では降りません。二度目は、少し声も大きくなったように思う。小学生なら高学年、中学生かもわからない。二度目の注意を聞いて、自転車から降りて「すみませんでした」といいながら、自転車を押して歩いて行きました。

買物帰りの婦人、小さな子供連、会社帰りの人、塾通いの子供が、大勢歩道を歩いていました。それを見て通っていく婦人の中から、「子供の二人乗り自転車ぐらい、あまりやかましくいわんでも良いやないかこれぐらい。うるさい人やなー」との会話が、私の耳に飛びこんで来ました。これだけ多くの人が歩いているのに、誰一人、注意する人がいない。みんな迷惑そうな顔をして歩いて行くだけ、見て見ぬふり、私には関係ないと、家路に急ぐだけ。私の住んでいる近くにも、こんな問題が多くあるように思う。人の迷惑など考えない子供がいるとしたら、大人が教えてわかるようにしたいものです。誰かが話するやろうと云って、ほっておいては、なにも良くならないように思う。自分の子供以外の子供でも、悪いことは悪い良いことは良いといったように、大人が見つけた時点で、声を出してみんなでみまもっていききたい。

東町体育祭地区対抗リレー順位		順位 対象	
1 位	深谷第2	小学生男子	小学生女子
2 位	深谷第1	メゾン	アカシヤ
3 位	アカシヤ	公団A	公団B
		東町A	
		成人男女	

東町地区親善ソフトボール大会順位



編集後記

新年号(第二十一号)をお届けします。公民分館の行事もお蔭をもちまして、無事に終り役員一同ほっとして居ることでしょう。この一年間公民分館活動に御協力下さいまして、ありがとうございました。役員一同 厚く御礼申し上げます。